

まほらいな市民大学の様子

令和5年5月18日(木)

東高遠 寺院めぐり

『 桂泉院と峰山寺 』

講 師 高遠案内「ふきのとう」の会



今回の講座は、4つのグループになり、東高遠の「桂泉院」「文学の小径」「峰山寺」を散策しました。天気に恵まれ、新緑の中、高遠案内「ふきのとう」の会の小田中一男氏、北原紀孝氏、廣瀬利一氏、山崎隆男氏の4名から、各場所の詳しい説明を聞き、郷土の歴史をじっくりと学びました。

高遠城址公園から足を伸ばして中央アルプスの眺望が美しい東高遠へ。「桂泉院」では、仁科五郎盛信公位牌堂、織田信忠が戦で運んできた鐘、武田信玄の父信虎公の墓、守屋貞治作の石仏「准胝観世音菩薩像、延命地藏大菩薩像、聖観音菩薩像」など、歴史の刻まれた遺産を直に肌で感じました。桂泉院から峰山寺にかけての「文学の小径」では、今井邦子や円地文子などの「歌碑」と「桂の大樹」「桂泉」を見学。そして「峰山寺」では、中村弥六の顕彰碑、阪本天山の墓、鳥居家墓所、日本三不動尊の一つの不動堂、進徳の森伊澤修二・多喜男の父母の墓などの見学をしました。

案内の方の説明はとてもわかりやすく、今から800年以上前からの寺の歴史のことや、戦国から江戸の激動の時代に生きた高遠城主や武将のこと、幕末や明治、近代日本を動かした高遠出身の人物のことなど、郷土の歴史のおもしろさや奥深さを学びました。

学生からは、「“高遠の深さ”をたった2つの寺院の見学でも学ぶことができました。是非とも歴史を学ぶ講座を続けてほしいと思った。」「案内の方の説明に“高遠愛”が伝わってきました。あらためてじっくり訪れて見たいと思います。」「案内の方がとてもいいいに説明してくださり、高遠の歴史に興味がわきました。自分でもいろいろ調べてみたいと思いました。」「といった感想がありました。